



少ないから、ゆたか

今回の園だよりは、視覚刺激と保育の話です。

令和6年度から社会科学博士、公認心理師の池田幸代先生を保育環境アドバイザーとして招くことが決まりました。まず最初に改善するのは、保育室内の視覚刺激です。現代の子ども達は、歴史上類を見ないほど強烈な刺激に囲まれて生きています。刺激が少ない様に感じる保育室にも実は、さまざまな張り紙や装飾があり、特に視覚刺激に敏感な子にとって過ごしづらい環境です。池田先生より、「子ども達が、集中して一心に遊びこむためには、視覚的刺激を最小限に減らす努力が必要です」との助言をいただきました。となれば善は急げです。もはや業界の慣習となっている保育室の装飾ですが、子ども達のために勇気を持って廃止にいたします。ハレの日を除き、職員による装飾をやめ、より落ち着いた保育室を実現します。Less is more. 全ては子ども達のために。 園長 山田 裕宇記